

II 調査結果

1 標本構成

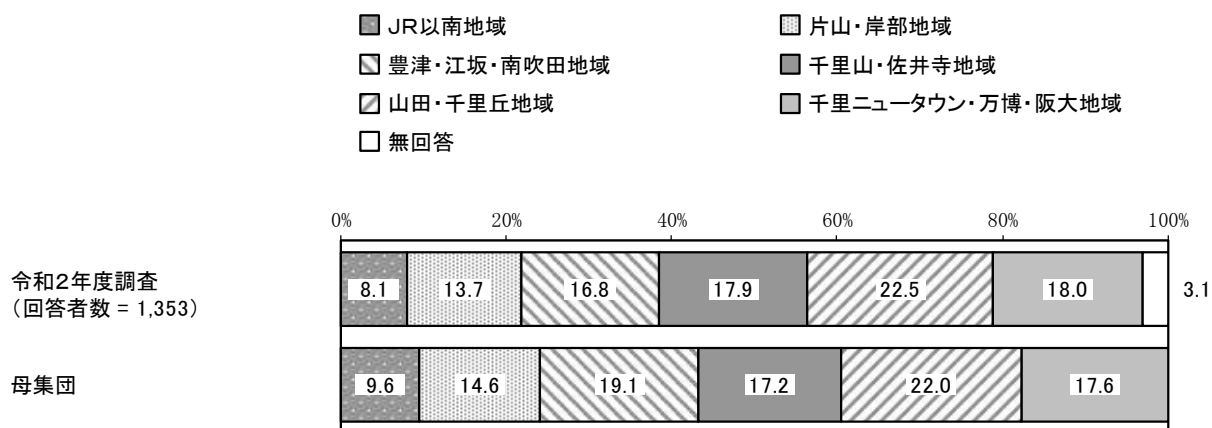
ここでは、回答者の基本属性について集計し、回収標本の特徴を示します。また、母集団（令和2年(2020年)7月31日現在）と比較可能な項目についても示しています。なお、無回答の算入や除外、四捨五入の処理などによって、百分率の合計が100%にならない場合もあります。

(1) 居住地域（問10）

「山田・千里丘地域」の割合が22.5%と最も高く、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」の割合が18.0%、「千里山・佐井寺地域」の割合が17.9%となっています。

母集団と比較すると、大きな違いはみられません。

図表1 居住地域（単純回答）

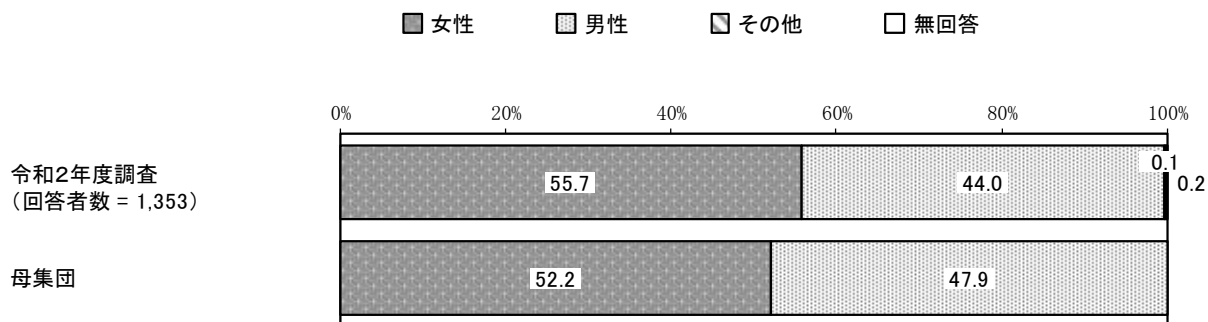


(2) 性別 (問2)

「女性」の割合が55.7%、「男性」の割合が44.0%となっており、「女性」が「男性」を11.7ポイント上回っています。

母集団をみると、「女性」の割合が52.2%、「男性」の割合が47.9%となっており、「女性」が「男性」を4.3ポイント上回っています。

図表2 回答者の性別 (単純回答)



図表3 回答者の性別 (居住地域別)

単位：%

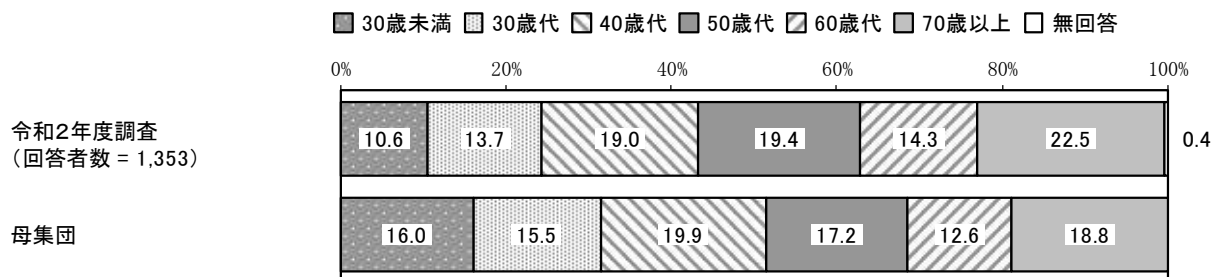
区分	有効回答数 (件)	女性	男性	その他	無回答	
全 体	1353	55.7	44.0	0.1	0.2	
母集団	298400	52.2	47.9	0.0	0.0	
居住地域別	JR以南	110	60.0	40.0	—	—
	片山・岸部	185	55.1	44.3	—	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	56.8	42.7	0.4	—
	千里山・佐井寺	242	55.4	44.6	—	—
	山田・千里丘	304	52.3	47.0	0.3	0.3
	千里NT・万博・阪大	243	55.6	44.4	—	—

(3) 年齢層 (問1)

「70歳以上」の割合が22.5%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が19.4%、「40歳代」の割合が19.0%となっています。

母集団と比較すると、「30歳未満」の割合が少なくなっています。

図表4 回答者の年齢層 (単純回答)



図表5 回答者の年齢層 (居住地域別)

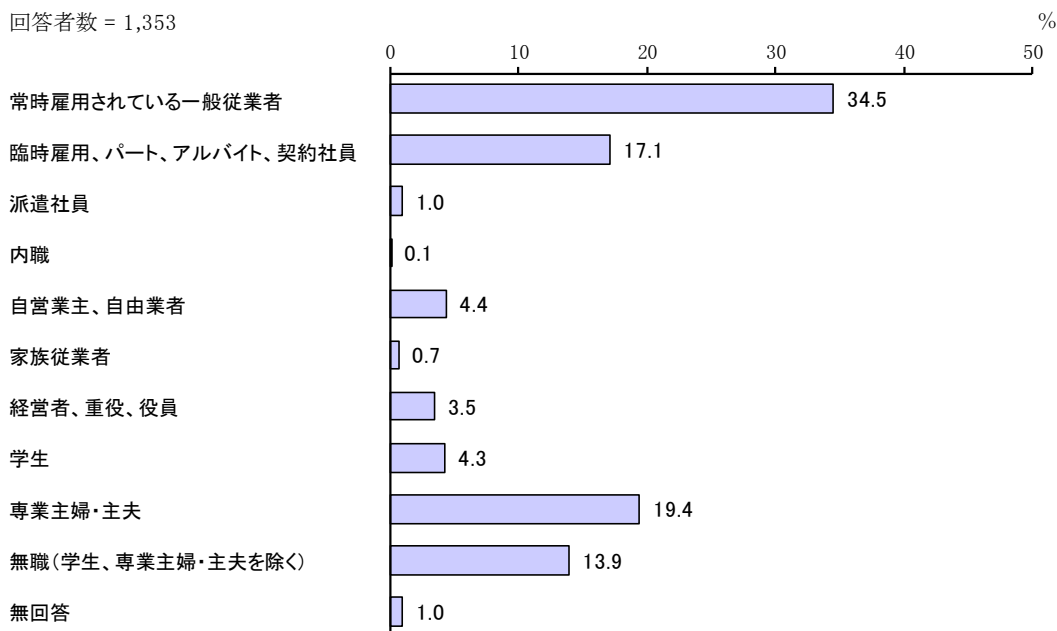
単位：%

区分		有効回答数 (件)	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		1353	10.6	13.7	19.0	19.4	14.3	22.5	0.4
性別	女性	753	10.9	14.2	19.4	18.7	14.3	22.3	0.1
	男性	595	10.1	12.9	18.5	20.5	14.5	23.0	0.5
居住地域別	JR以南	110	9.1	12.7	17.3	17.3	13.6	30.0	—
	片山・岸部	185	9.7	15.1	18.9	21.1	13.5	21.1	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	16.7	17.6	17.2	18.5	11.9	18.1	—
	千里山・佐井寺	242	9.5	15.3	21.5	18.6	15.7	18.6	0.8
	山田・千里丘	304	9.9	12.5	18.1	21.4	15.5	22.7	—
	千里NT・万博・阪大	243	7.8	10.3	21.4	18.1	15.6	26.7	—

(4) 職業 (問3)

「常時雇用されている一般従業者」の割合が34.5%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が19.4%、「臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員」の割合が17.1%となっています。

図表6 回答者の職業 (単純回答)



図表7 回答者の職業 (性別、年齢別、居住地域別)

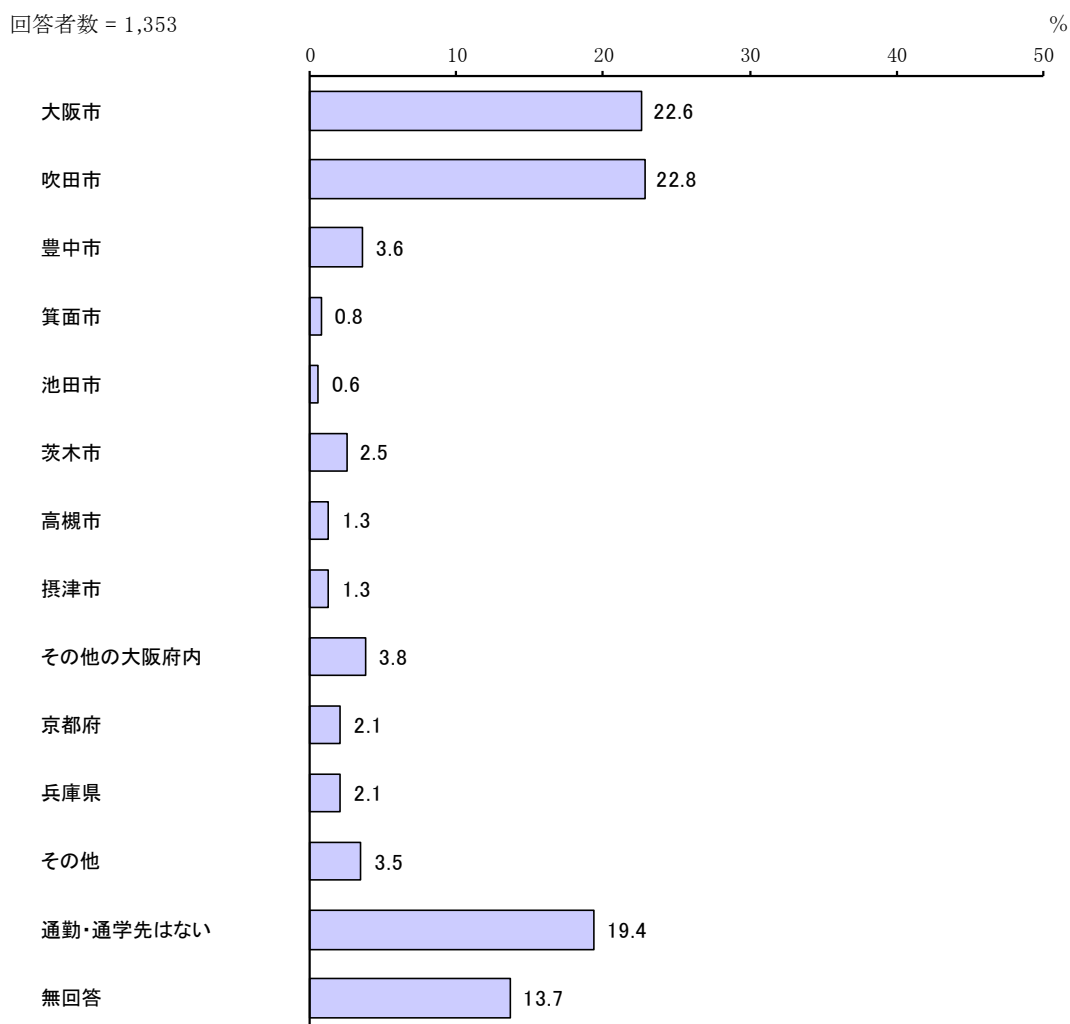
単位：%

区分	有効回答数 (件)	一般従業者	常時雇用されている パート、アルバイト、 契約社員	派遣社員	内職	自営業主、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職 (学生、専業主婦・主夫を除く)	無回答	
全体	1353	34.5	17.1	1.0	0.1	4.4	0.7	3.5	4.3	19.4	13.9	1.0	
性別	女性	753	21.6	23.2	1.5	—	1.7	1.2	1.9	5.4	33.5	8.9	1.1
	男性	595	50.8	9.6	0.5	0.2	7.7	0.2	5.7	2.9	1.7	20.3	0.5
年齢別	30歳未満	143	44.8	6.3	1.4	0.7	1.4	—	0.7	39.9	2.8	2.1	—
	30歳代	185	61.1	11.4	1.1	—	2.2	0.5	0.5	0.5	16.2	6.5	—
	40歳代	257	50.2	22.2	1.6	—	3.9	—	5.4	—	16.3	0.4	—
	50歳代	263	47.5	23.6	1.1	—	6.1	0.8	4.2	—	11.4	4.6	0.8
	60歳代	194	14.9	27.8	1.0	—	8.2	0.5	5.7	—	25.8	14.9	1.0
70歳以上	305	2.0	9.2	0.3	—	3.9	2.0	3.3	—	34.4	42.6	2.3	
居住地域別	JR以南	110	30.0	19.1	0.9	—	1.8	1.8	4.5	2.7	21.8	15.5	1.8
	片山・岸部	185	35.1	18.4	1.1	0.5	4.9	0.5	3.8	2.2	16.8	15.1	1.6
	豊津・江坂・南吹田	227	41.0	12.8	0.9	—	5.7	1.3	4.4	4.4	17.2	10.1	2.2
	千里山・佐井寺	242	33.1	16.5	1.2	—	5.0	0.8	5.0	5.0	21.1	12.0	0.4
	山田・千里丘	304	35.2	20.7	0.7	—	4.3	0.3	1.6	5.3	19.1	12.8	—
千里NT・万博・阪大	243	31.7	16.0	1.2	—	4.1	0.4	3.3	4.1	21.0	18.1	—	

(5) 通勤・通学地 (問4)

「吹田市」の割合が22.8%と最も高く、次いで「大阪市」の割合が22.6%、「通勤・通学先はない」の割合が19.4%となっています。

図表8 回答者の通勤・通学地 (単純回答)



図表9 回答者の通勤・通学地（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

単位：％

区分		有効回答数 (件)	大阪市	吹田市	通勤・通学先はない	無回答
全 体		1353	22.6	22.8	19.4	13.7
性別	女性	753	15.9	27.9	22.8	18.6
	男性	595	30.9	16.3	15.3	7.2
年齢別	30歳未満	143	28.0	27.3	2.8	1.4
	30歳代	185	32.4	18.4	15.7	6.5
	40歳代	257	33.5	24.9	12.5	4.7
	50歳代	263	29.3	27.4	11.8	4.6
	60歳代	194	17.0	24.2	23.7	18.0
	70歳以上	305	3.0	16.7	39.3	35.7
居住地域別	JR以南	110	20.9	24.5	19.1	16.4
	片山・岸部	185	22.7	25.4	17.8	15.1
	豊津・江坂・南吹田	227	24.7	24.2	16.3	11.5
	千里山・佐井寺	242	28.9	23.1	21.9	9.5
	山田・千里丘	304	18.8	22.7	16.4	14.5
	千里NT・万博・阪大	243	21.8	17.3	25.5	14.4
職業別	常時雇用者	467	45.8	16.3	—	0.2
	臨時雇用者	232	19.8	56.9	1.3	0.4
	派遣社員	14	42.9	7.1	—	—
	内職	1	—	100.0	—	—
	自営業主、自由業者	60	21.7	55.0	1.7	1.7
	家族従業者	10	—	70.0	10.0	10.0
	経営者、重役、役員	48	37.5	39.6	2.1	4.2
	学生	58	12.1	36.2	—	—
	専業主婦・主夫	262	0.4	3.4	55.0	40.5
無職	188	—	1.6	59.6	36.2	

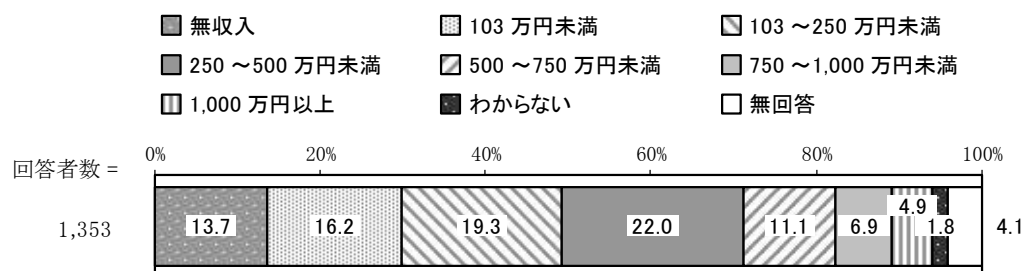
(6) 年間収入 (問7)

【回答者自身の年間収入】

「250～500 万円未満」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「103～250 万円未満」の割合が 19.3%、「103 万円未満」の割合が 16.2%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者自身の平均年間収入は 324.7 万円となります。

図表10 回答者自身の年間収入 (単純回答)



注) 加重平均値

- 加重平均値は、値を単純に平均するのではなく、値の個数を加味して平均すること。
- 各年収層の中間値と回答者数を掛け、収入総額を算出する。例えば、「103 万円未満」では、51.5 万円×219 人=11,279 万円となる。
- 全年収層の総収入額を回答者数で割った値が加重平均値となる。このケースでは、352,970 万円÷1087 人=324.7 万円となる。
- なお、「無回答」や「わからない」は計算から除かれている。

図表11 回答者自身の年間収入

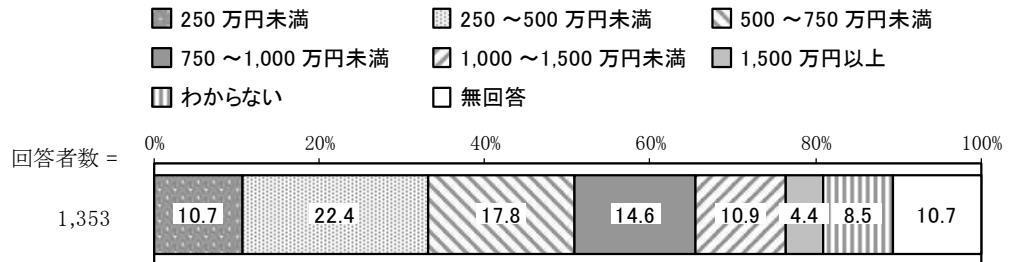
	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
無収入	186	13.7	—	—
103 万円未満	219	16.2	51.5	11,279
103～250 万円未満	261	19.3	176.5	46,067
250～500 万円未満	297	22.0	375.0	111,375
500～750 万円未満	150	11.1	625.0	93,750
750～1,000 万円未満	94	6.9	875.0	82,250
1,000 万円以上	66	4.9	125.0	8,250
わからない	25	1.8	—	—
無回答	55	4.1	—	—
合計	1353	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	1087	—	—	352,970
平均年間収入(加重平均値)	—	—	—	324.7

【回答者の世帯の年間収入】

「250～500 万円未満」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「500～750 万円未満」の割合が 17.8%、「750～1,000 万円未満」の割合が 14.6%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者の世帯の平均年間収入は 679.4 万円となります。

図表12 回答者の世帯の年間収入（単純回答）



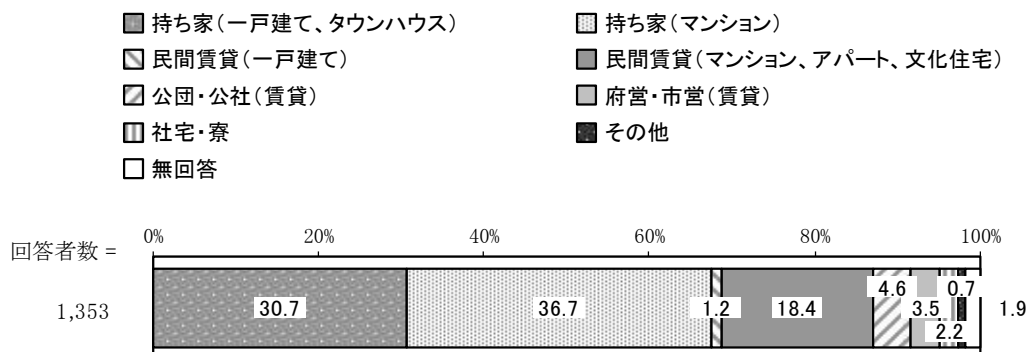
図表13 回答者の世帯の年間収入（単純回答）

	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
250 万円未満	145	10.7	125.0	18,125
250～500 万円未満	303	22.4	375.0	113,625
500～750 万円未満	241	17.8	625.0	150,625
750～1,000 万円未満	198	14.6	875.0	173,250
1,000～1,500 万円未満	147	10.9	1250.0	183,750
1,500 万円以上	59	4.4	1750.0	103,250
わからない	115	8.5	—	—
無回答	145	10.7	—	—
合計	1353	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	1093	—	—	742,625
平均年間収入(加重平均値)	—	—	—	679.4

(7) 住宅の種類 (問8)

「持ち家 (マンション)」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「持ち家 (一戸建て、タウンハウス)」の割合が 30.7%、「民間賃貸 (マンション、アパート、文化住宅)」の割合が 18.4%となっています。

図表14 回答者の住宅の種類 (単純回答)



図表15 回答者の住宅の種類 (性別・年齢別・居住地域別)

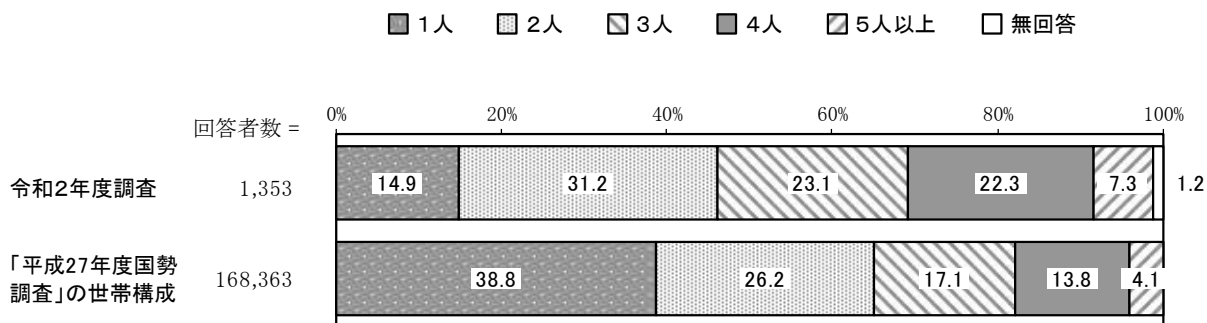
単位：%

区分	有効回答数 (件)	持ち家 (一戸建て、タウンハウス)	持ち家 (マンション)	民間賃貸 (一戸建て)	民間賃貸 (マンション、アパート、文化住宅)	公団・公社 (賃貸)	府営・市営 (賃貸)	社宅・寮	その他	無回答	
全体	1353	30.7	36.7	1.2	18.4	4.6	3.5	2.2	0.7	1.9	
性別	女性	753	29.7	36.1	1.2	19.9	4.5	4.0	1.5	0.7	2.4
	男性	595	31.8	37.8	1.2	16.5	4.7	3.0	3.2	0.7	1.2
年齢別	30歳未満	143	19.6	32.9	0.7	37.1	2.1	0.7	4.9	—	2.1
	30歳代	185	18.9	33.5	0.5	36.2	2.2	2.2	4.9	—	1.6
	40歳代	257	30.0	37.7	1.2	22.2	2.7	1.2	2.7	1.2	1.2
	50歳代	263	33.1	42.6	—	13.7	2.3	3.4	2.3	—	2.7
	60歳代	194	35.6	40.2	2.6	8.2	6.2	4.1	0.5	1.5	1.0
	70歳以上	305	38.7	32.8	2.0	6.6	9.8	7.5	—	1.0	1.6
居住地域別	JR以南	110	53.6	14.5	2.7	20.0	—	3.6	2.7	—	2.7
	片山・岸部	185	50.3	20.0	1.1	18.4	3.2	2.7	2.7	1.6	—
	豊津・江坂・南吹田	227	26.0	31.7	2.2	33.9	1.3	—	3.1	0.4	1.3
	千里山・佐井寺	242	36.4	31.8	0.8	24.8	2.1	0.8	2.1	0.4	0.8
	山田・千里丘	304	21.7	56.9	0.7	13.8	2.0	1.6	1.6	0.7	1.0
	千里NT・万博・阪大	243	16.9	46.5	0.8	3.7	15.6	13.2	2.1	0.8	0.4

(8) 世帯構成 (問5～問6)

本調査の回答者の世帯人員は「1人」世帯が14.9%であり、平成27年度の国勢調査での本市の「1人」世帯の割合(38.8%)の半数以下となっています。一方、「2人」世帯(31.2%)、「3人」世帯(23.1%)、「4人」世帯(22.3%)及び「5人以上」世帯(7.3%)は、本市の平成27年度の国勢調査による世帯構成を上回っています。

図表16 回答者の世帯人員



図表17 回答者の世帯人員

	アンケート調査		平成27年度国勢調査	
	回答者数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
1人	202	14.9	65,350	38.8
2人	422	31.2	44,107	26.2
3人	312	23.1	28,718	17.1
4人	302	22.3	23,286	13.8
5人以上	99	7.3	6,902	4.1
無回答	16	1.2	—	—
合計	1337	100.0	168,363	100.0
世帯人員	3837	—	374,468	—
1世帯当たり人員	2.87	—	2.22	—

回答者の家族構成は、「親子」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「夫婦」の割合が 25.6%、「単身」の割合が 13.1%となっています。

世帯人員別で見ると、2人世帯で「夫婦」の割合が 82.0%を占めており、3人世帯、4人世帯で「親子」の割合が 75%を超えています。一方、5人以上世帯は「親子」が 51.5%を占めています。

図表18 回答者の家族構成

